

代表樹種 ユリノキ



〔撮影場所;小倉北区大手町〕

モクレン科 ユリノキ (百合木) <別名//ハンテンボク、チューリップノキ> 落葉広葉高木 樹高30m (原産地では60m)
北米原産。着物の半纏に似た葉の形やチューリップ型の花の形からハンテンボクあるいはチューリップの木とも呼ばれる。
萌芽力旺盛で成長が早い、樹形が堂々としているなどの理由から急速に街路樹としての採用が増えている。
整然とした大木の並木道を作り出すことのできる樹種で、緑、花、紅葉、冬木立と四季を通じて楽しめる。
5～6月にかけてチューリップ型の花をつける。



チューリップのような形をした花。



葉と幹肌
葉は着物の半纏に似た特徴的な形をしている。



街路樹としての代表的路線
小倉北区 大手町7号線、8号線

八幡東区 枝光本町前田1号線、山王中央1号線
八幡西区 本城東57号線